

2022年3月期 第2四半期決算説明資料



ICDAホールディングス

International Conglomerate of Distribution for Automobile

2021年12月1日

(東証二部・名証二部 3184)




2022年3月期 第2四半期決算概要




2022年3月期 第2四半期決算概要


● 国産新車販売台数

 **2,310台** （前年同期比 0.1%減）

● 輸入車販売台数

 **236台** （前年同期比 13.5%増）






● 中古車販売台数

 **4,864台** （前年同期比 4.8%増）

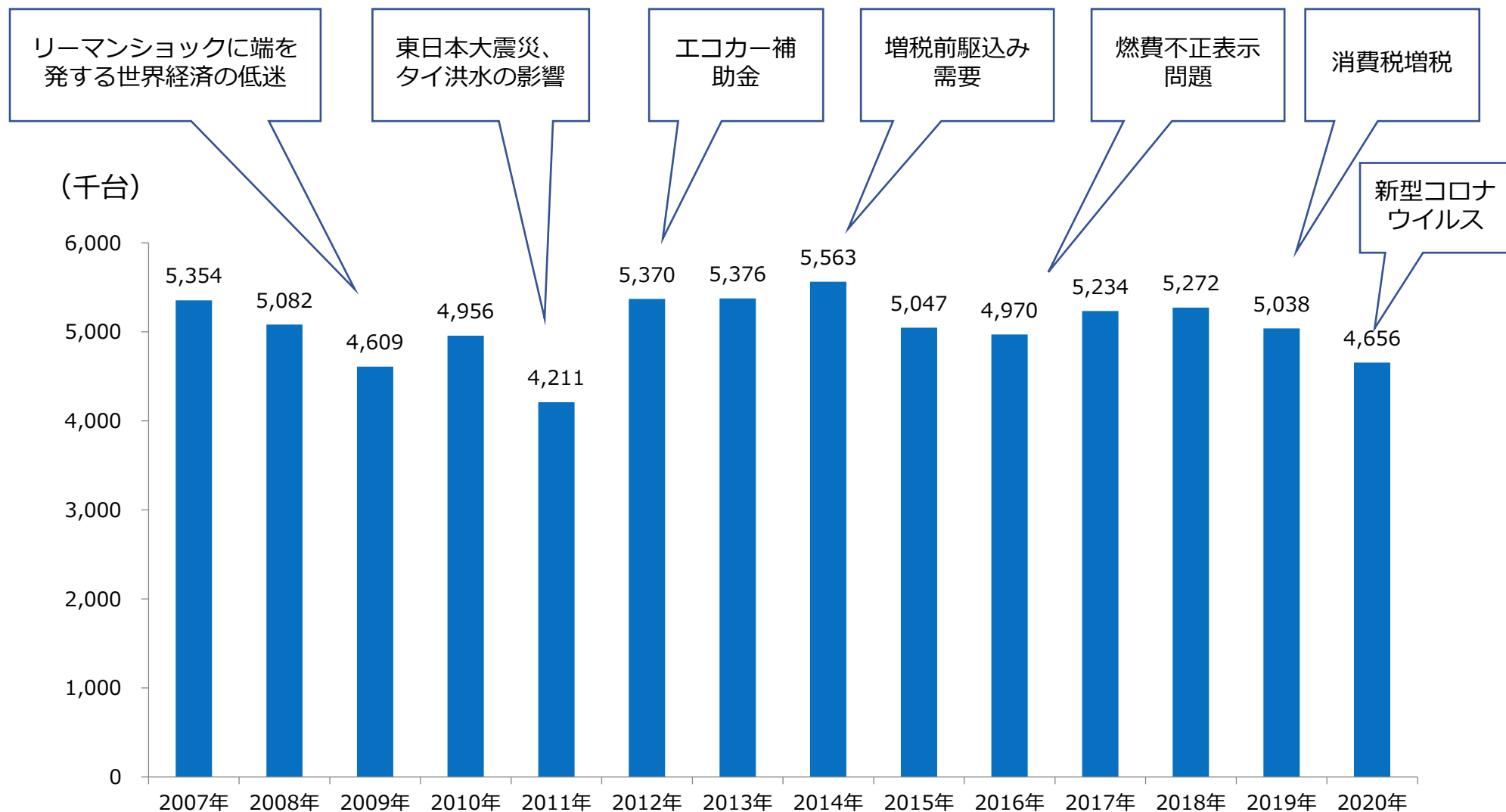
- 国産新車・・・半導体不足の影響を受け一部商品及び部品の供給遅れが発生
- 輸入車・・・新車種の投入効果
- 中古車販売・・・既存顧客からの受注が堅調に推移

グループ販売台数の推移

（単位：台）

	2021年3月期			2022年3月期				2022年3月期計画	
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	前年同期比	累計	前年同期比
国産新車	2,312	2,674	4,986	2,310	—	2,310	 0.1%減	5,100	 2.3%増
輸入車	208	274	482	236	—	236	 13.5%増	550	 14.1%増
中古車	4,640	5,162	9,802	4,864	—	4,864	 4.8%増	10,300	 5.1%増

国内新車販売台数の推移






出所：（社）日本自動車販売協会連合会HP統計資料より当社作成

長期的な営業環境

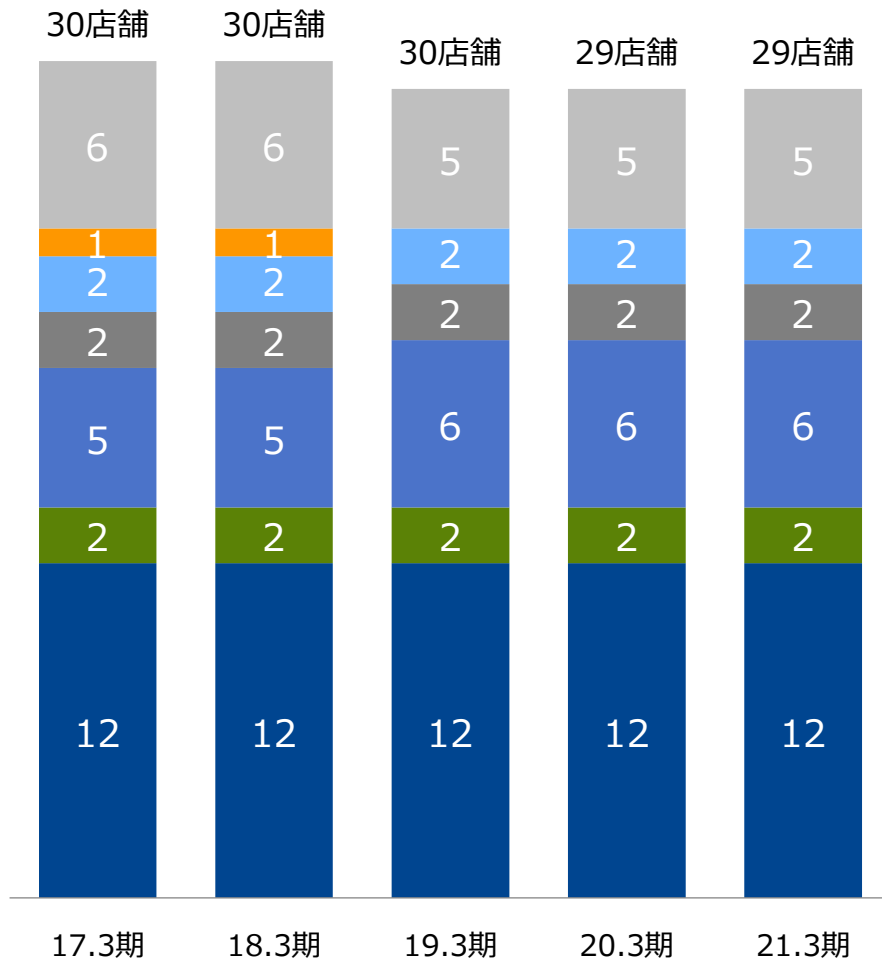
- 自動車の保有台数のゆるやかな微減傾向
- 自動車の長期保有化
- モビリティの変化をもたらす要因
(先進安全装備・次世代エコカー・自動運転車・カーシェアリング・コネクティッドカー)
- 消費税増税における内需落ち込み
- 新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退

国内販売台数（新車・中古車・輸入車）の推移

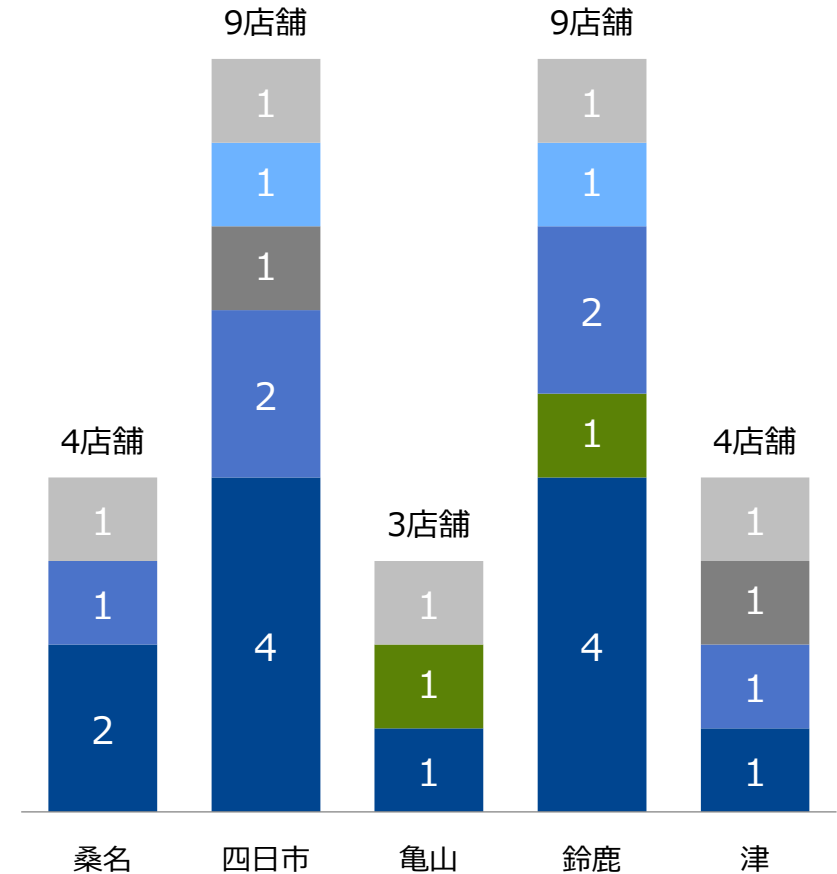
(単位：千台)

	2020年3月期			2021年3月期			
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	前年同期比
国内新車販売台数	2,621	2,417	5,038	2,028	2,628	4,656	 7.6%減
国内中古車登録車台数	1,891	1,916	3,807	1,848	2,008	3,856	 1.3%増
輸入車新規登録台数	176	162	339	136	199	335	 1.0%減

出店状況の推移（5年間）



地域別出店状況



■ ホンダカーズ ■ オートテラス ■ ヴァーサス ■ Audi ■ VW ■ ポルシェ ■ POINT⑤

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
売上高	12,264	13,465	1,201	+ 9.8
営業利益	671	805	134	+ 20.0
経常利益	671	812	141	+ 20.9
親会社株式に 帰属する当期純利益	450	525	75	+ 16.8

ICDAホールディングス

(株) ホンダ四輪販売 三重北

- 新車販売
(ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

自動車販売事業

(株) オートモール

- 新車販売
(アウディ・VW正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

(株) マーク・ コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター

自動車リサイクル事業

(単位：百万円)

		2022年3月期 第2四半期
自動車販売関連事業	新車（国産車）	5,195
	新車（輸入車）	1,053
	中古車	4,979
	サービス（車検・点検整等）	1,685
	その他	5
自動車リサイクル事業	自動車リサイクル（部品・資源等）	545
合 計		13,465

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	増減率(%)
流動資産	4,250	4,207	- 1.0
固定資産	10,465	10,435	- 0.2
資産の部	14,716	14,642	- 0.5
流動負債	6,418	5,982	- 6.7
固定負債	1,534	1,447	- 5.6
負債の部	7,952	7,430	- 5.8
資本金	1,161	1,161	-
資本剰余金	1,148	1,148	-
利益剰余金	4,233	4,653	+ 9.9
純資産合計	6,763	7,212	+ 6.6

2022年3月期計画



(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減率(%)
売上高	26,717	28,000	1,283	-4.8
営業利益	1,460	1,399	-61	-4.2
経常利益	1,456	1,400	-56	-3.9
親会社株式に帰属 する当期純利益	788	922	134	+17.0

(単位：台)

販売台数	2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減率(%)
新車（国産車）	4,986	5,100	114	+2.3
新車（輸入車）	482	550	68	+14.1
中古車	9,802	10,300	498	+5.1

今後の戦略



- I C D Aグループ新車商品センター・中古車商品センター
- 自動車安全運転支援システム体験試乗コース
- 納車センター、P Bカー（自主企画カスタマイズカー）製作工場
- 低炭素社会、デジタル化を見据えた、革新的な新車納車整備センター
- 店舗の拡販支援をサポートする施設



約20,000坪の敷地面積（東京ドームの約1.4倍） 鈴鹿市八野町

八野モータープールの活用効果

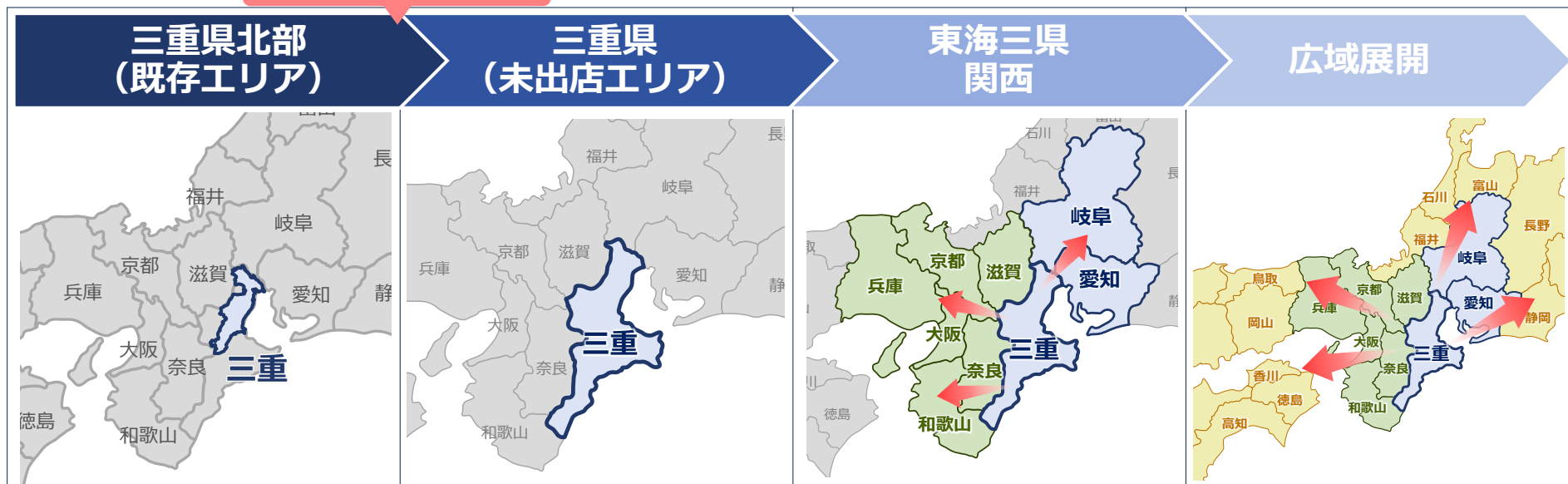
中古車付加価値の創出

営業効率・収益率の向上

中古車店販売網の拡大

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的には**M & A**を踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行う独自ブランドP O I N T ⑤を**積極展開**

現在のステージ



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 新ブランド「VERSUS PLUS」
- 正規ディーラーと同等のクオリティを提供
- 高級・高品質ラインへの品揃え
- ネットでの情報発信と先進のネット販売システム構築へ



- 平成29年1月亀山ライフ・ミックス・オートモール（新車・中古車の複合商業施設）オープン
- 大型車検センターによる、高効率化の取り組みをグループ全店へ波及
- 今後、自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設へ

ホンダカーズ三重北亀山長明寺店
ホンダオートテラス亀山長明寺
POINT⑤亀山店
リサイクルパーツショップ
大型車検センター



基本方針

**将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
1株当たり年間配当50円以上を基本に安定配当を継続**

配当の状況

	1株当たり年間配当金	配当性向（連結）
2020年3月期	50円	15.5%
2021年3月期	50円	13.3%
2022年3月期（予想）	50円	11.4%

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

參考資料



社名	ICDAホールディングス株式会社
設立	2009年10月1日
本社	三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1
代表者	代表取締役社長 向井弘光
資本金	1,161百万円
発行済 株式総数	2,099,793株（自己株式207株を除く）
事業内容	自動車販売関連事業 自動車リサイクル事業
売上高	26,717百万円（連結）（2021年3月期）
経常利益	1,456百万円（連結）（2021年3月期）
従業員数	391名（連結）（2021年3月期）

ICDAホールディングス

International Conglomerate of Distribution for Automobile



新車から中古車・リサイクルまで幅広く取り扱い、
自動車流通にイノベーションを起こすことを
目指す企業グループ

ICDAホールディングス

(株) ホンダ四輪販売 三重北

- 新車販売
(ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

自動車販売事業

(株) オートモール

- 新車販売
(アウディ・VW正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

(株) マーク・ コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター

自動車リサイクル事業

**我々は、すべての商品に愛情と情熱を持ち、
つねに初心を忘れず、真心をもってお客様に接し
ご満足していただくことを誇りとする。**

各種提案



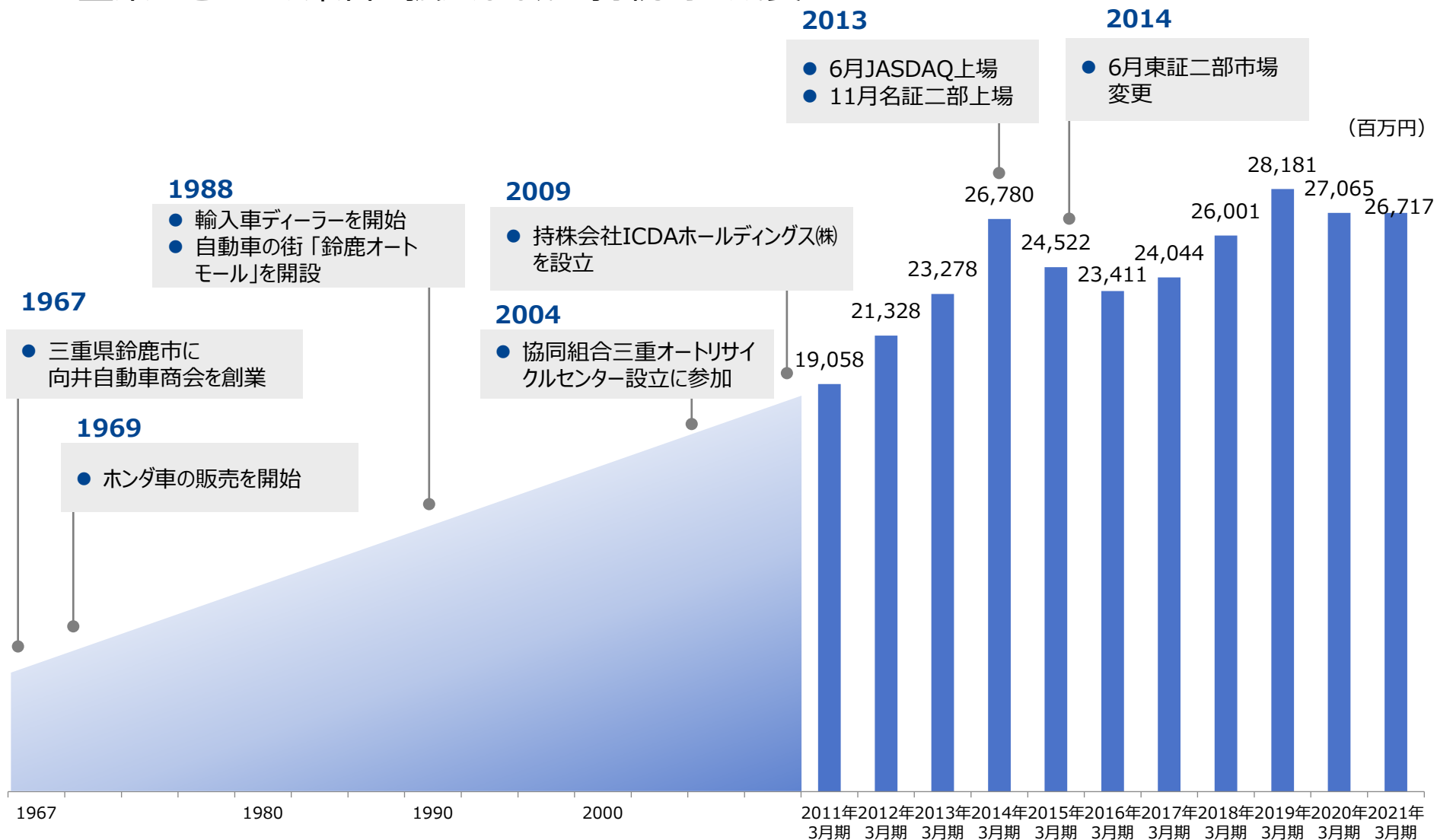
販売



カーライフ サポート



● 三重県を地盤に、業容を拡大しながら持続的に成長

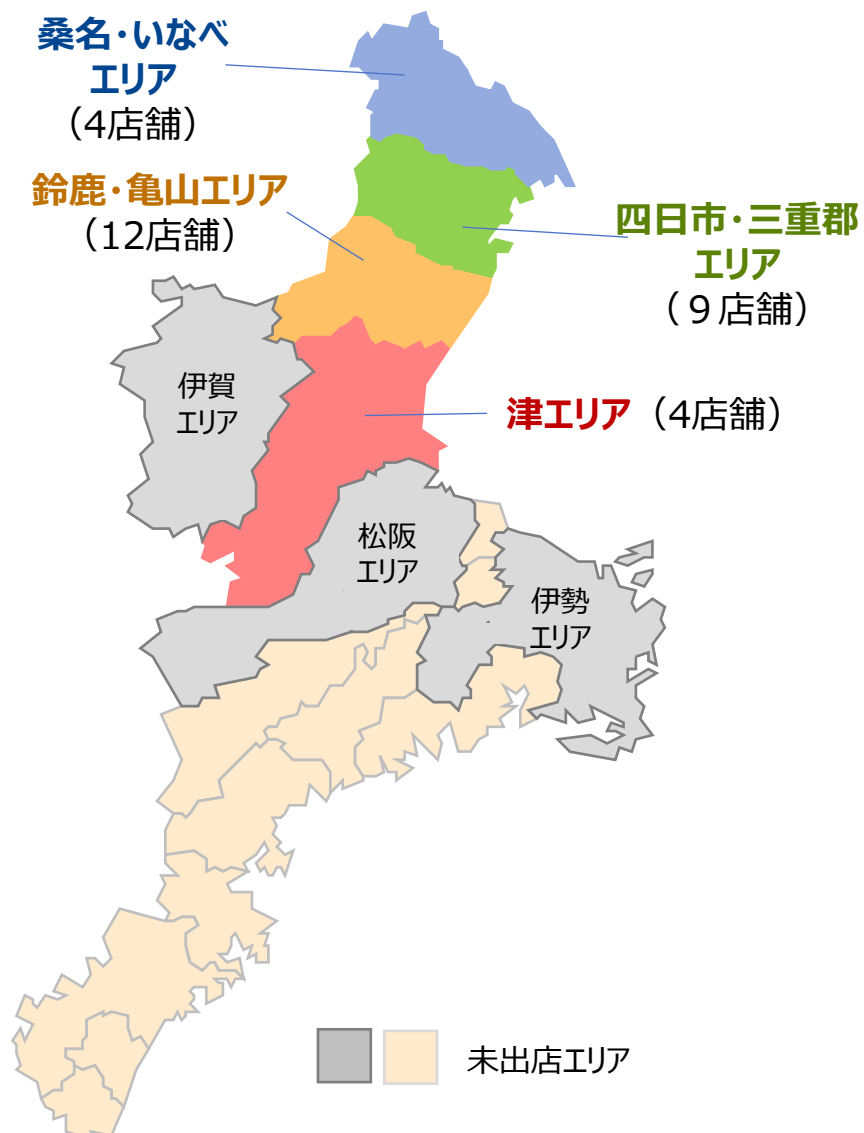


- 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、**幅広い顧客層**にお車を提供することが可能

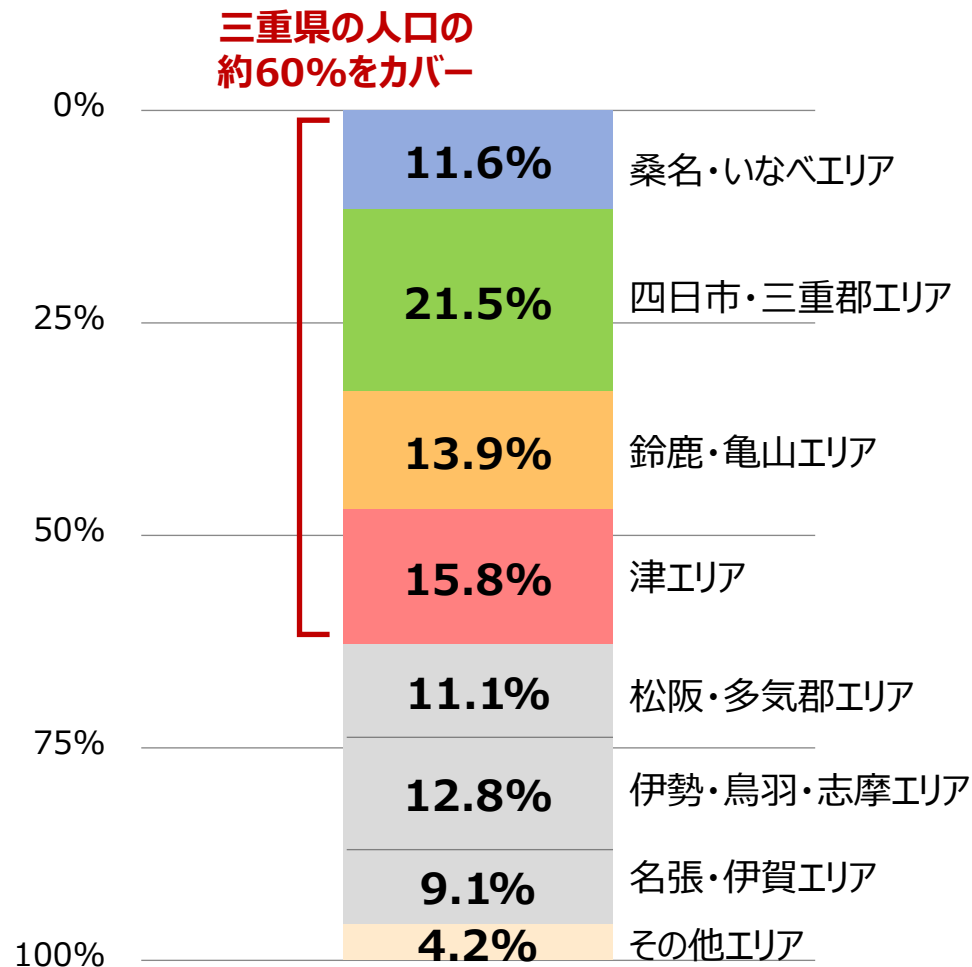
★はオリジナルブランド

業態名	事業内容	取扱車種例
アウディ三重	アウディの正規ディーラー	A3、A4、Q3、Q5、A8、R8、e-tron
フォルクスワーゲン	フォルクスワーゲンの 正規ディーラー	Polo、Golf、T-Cross、Pasaat、 Arteon、T-Roc
★ ヴァーサスプラス	高級・高品質中古車業態	全メーカー中古車
ホンダカーズ三重北	ホンダの正規ディーラー	N-BOX、フィット、ヴェゼル、フリード
★ ヴァーサス	全メーカーを扱う中古車業態	全メーカー中古車
U-S e l e c t	ホンダ車専門の中古車業態	ホンダ車中古車
★ POINT⑤	低年式・多走行の 中古車販売と買取強化店舗	全メーカー中古車

● 人口の多い北部エリアを中心に店舗を展開



三重県の地域別推計人口



- 三重県においては、自動車保有台数の増加が続く

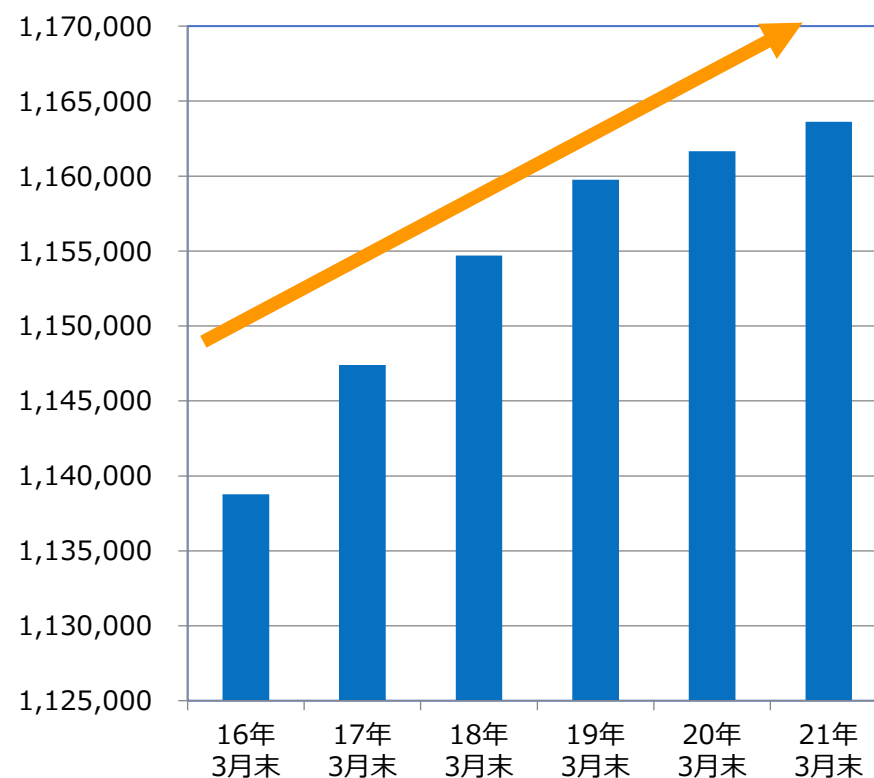
東海三県の自家用乗用車※の普及台数及び保有台数 (2021年3月末)

県名	普及台数/ 世帯 (台)	全国順位	保有台数 (千台)	全国順位
愛知	1.248	29位	4,205	1位
岐阜	1.553	8位	1,300	18位
三重	1.443	15位	1,163	21位
全国	1.037	—	61,703	—

出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会「自家用自動車の世帯当たり普及台数」より当社作成

※ 自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

三重県の自家用乗用車保有台数推移



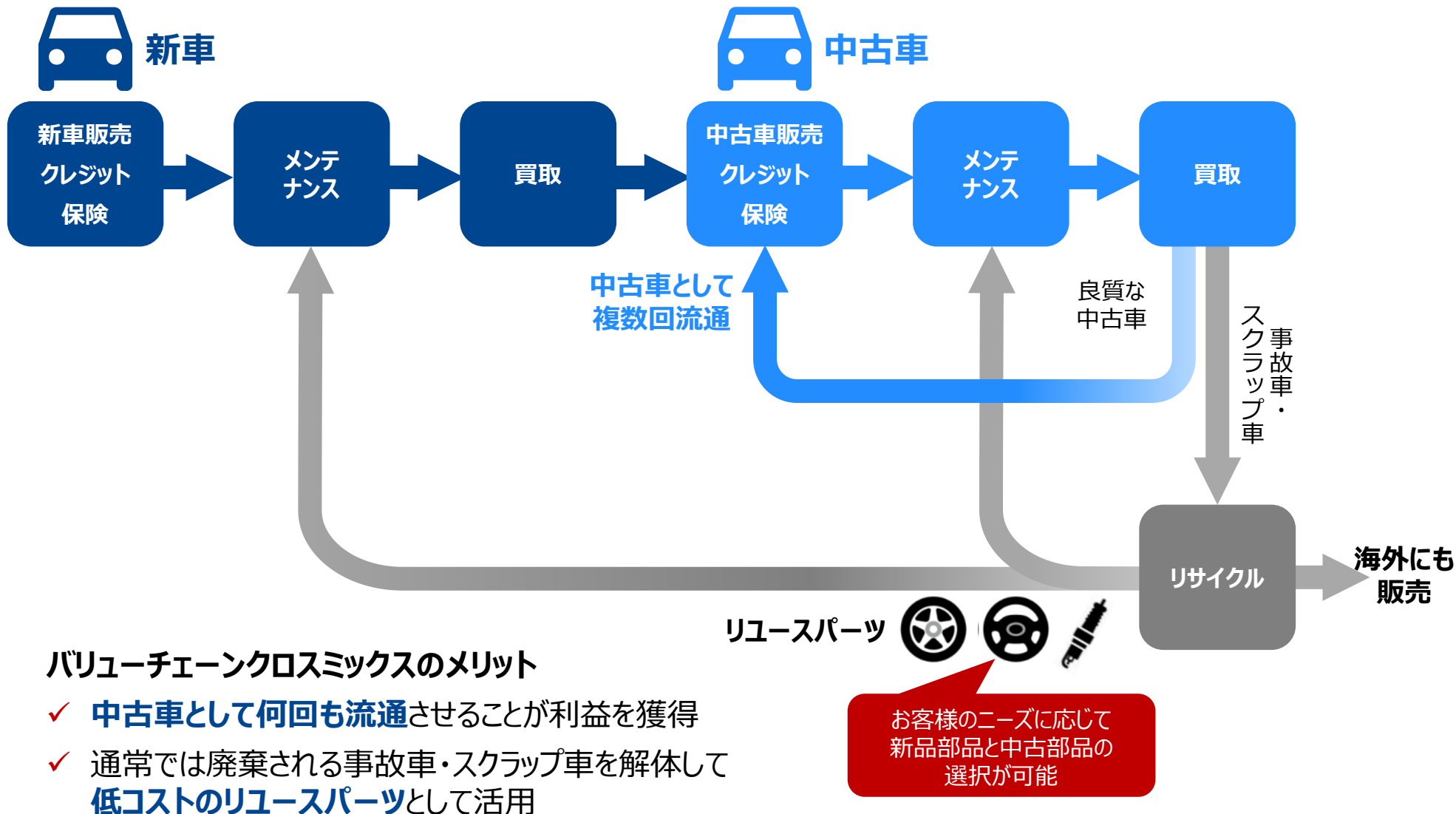
出所：(社) 日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

- 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



バリューチェーンクロス・ミックスとは？

- グループ間で、新車販売・中古車販売・中古車買取・アフターサービス・リサイクルの流通経路を網羅することで、お客様に向けて商品やサービスの付加価値を最大化



バリューチェーンクロスミックスのメリット

- ✓ **中古車として何回も流通**させることが利益を獲得
- ✓ 通常では廃棄される事故車・スクラップ車を解体して**低コストのリユースパーツ**として活用

- バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

①収益機会の増加



②独自の中古車流通



③リユースパーツの活用

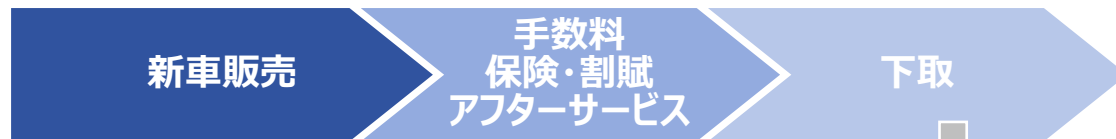


④店舗開発ノウハウ

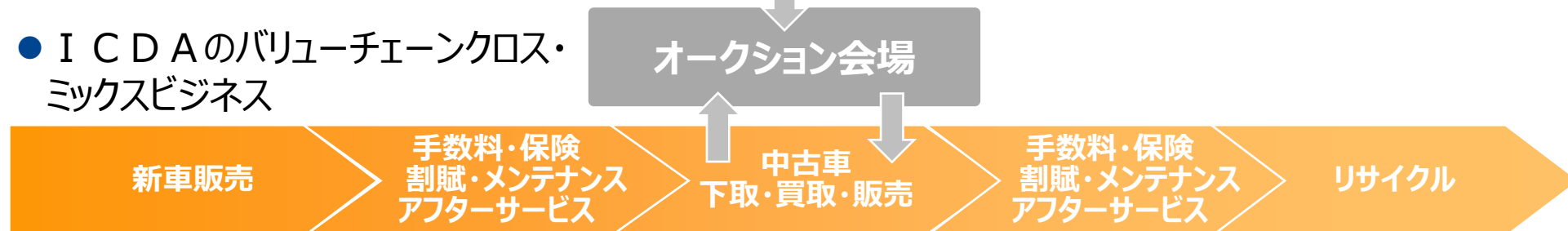


① 収益機会の増加

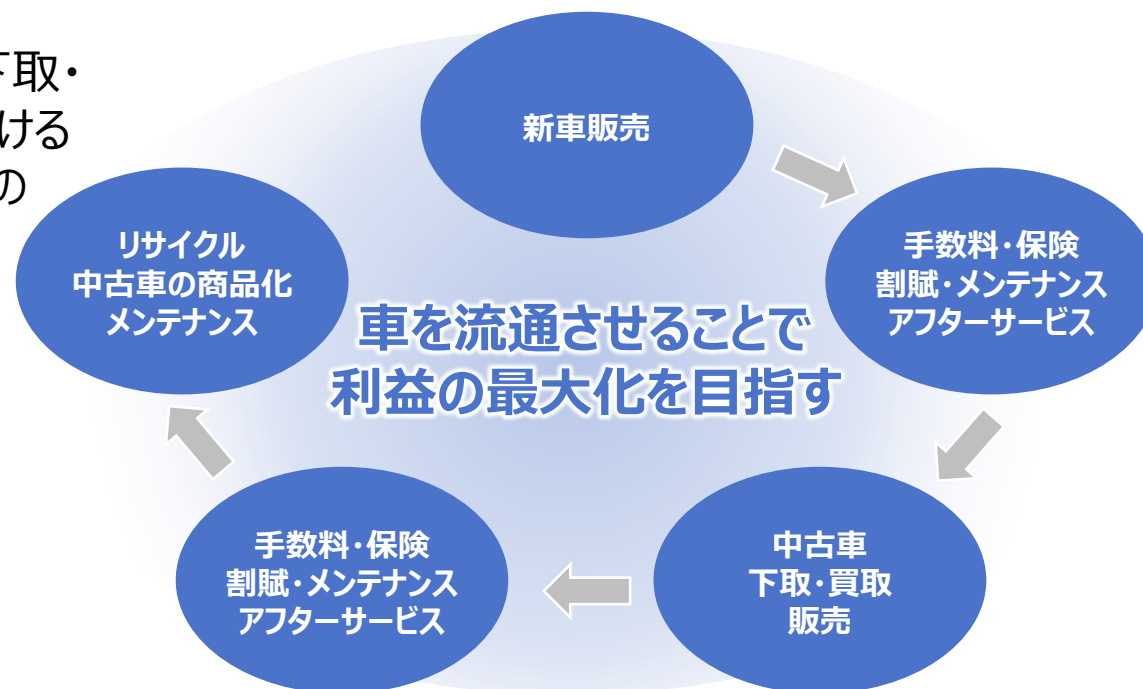
- 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネス



- ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



- 自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車が流通する際の**収益機会が増加**



②独自の中古車流通（グループ内流通でバリューを追求）

- 車の種類・状態等に合わせ、**グループ内で効率よく流通**

POINT⑤と鈴鹿オートリサイクル
センターを保有することで、
車を売りやすい仕組みを構築



潤沢な中古車の確保が可能

新車販売時の下取



中古車販売時の下取

U-Select

VECSUS PLUS



中古車買取



ホンダ車は

U-Select

ホンダ車以外は

VECSUS PLUS



低年式・多走行車は

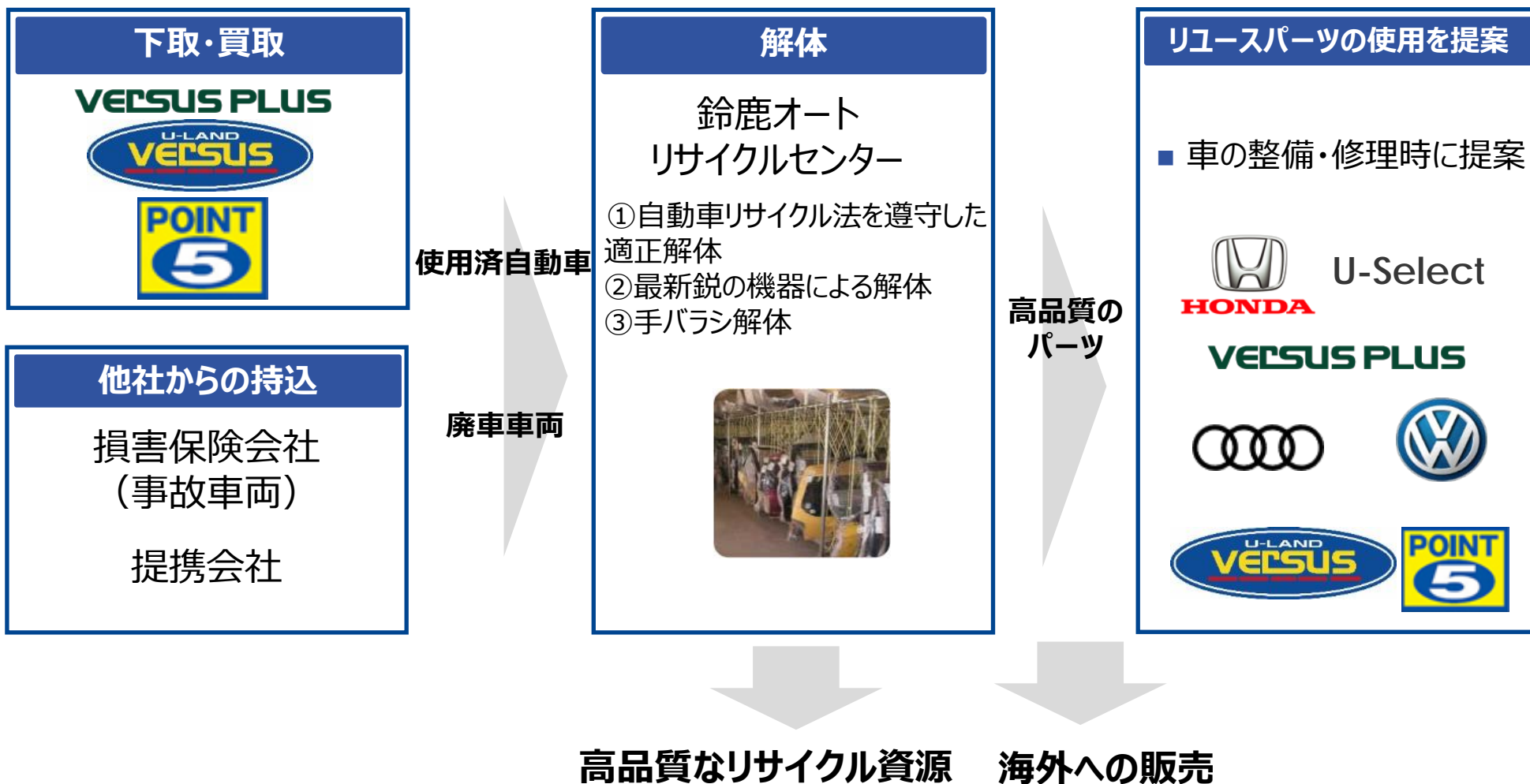


事故車・スクラップは



③リユースパーツの活用（顧客満足度の向上）

- 品質の高いリユースパーツを提案
- **低コストでの修理が可能**となり顧客満足度が向上



④店舗開発ノウハウ

- 複数のブランドを組み合わせることで**マーケットに合わせた店舗展開**が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することで**ターゲット層が拡大し、集客力が向上**

(1) 複合型店舗

新車ディーラーを核とした複合型



✓ 幅広いターゲットに対応

(2) 小規模併設店舗

POINT⑤と組合せた出店



✓ 低コストのオペレーション

(3) 隣接型店舗

他社商業施設内での展開



✓ ファミリー層に対応

(4) ライフ・ミックス・オートモール

当社敷地に他社テナントを誘致した複合施設



✓ 幅広いターゲットに対応

- 新車・中古車の異なる業態を組み合わせる複合商業施設（オートモール）を6箇所で開催中
- 地域にあった最適な業態の店舗を組み合わせることで、集客力の向上、新規出店費用の抑制へ

単独出店の場合

顧客を取り逃がす可能性が高い

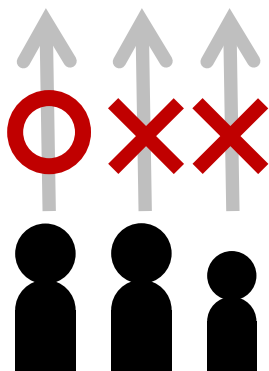
ICDA

複合商業施設（オートモール）の場合

幅広い顧客の取り込みが可能

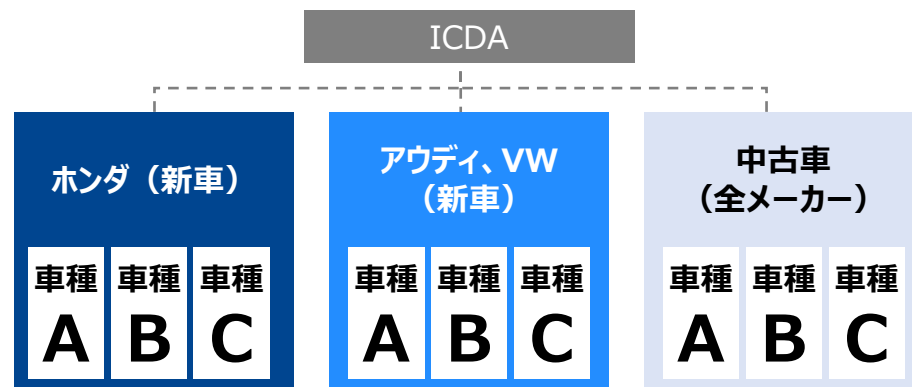


このメーカーで
買いたい！



消費者（家族）

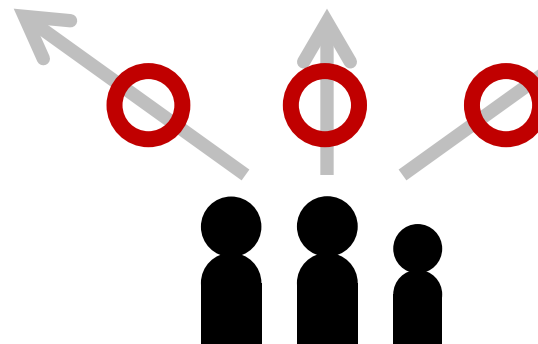
選択肢が少ない



ホンダ車

輸入車

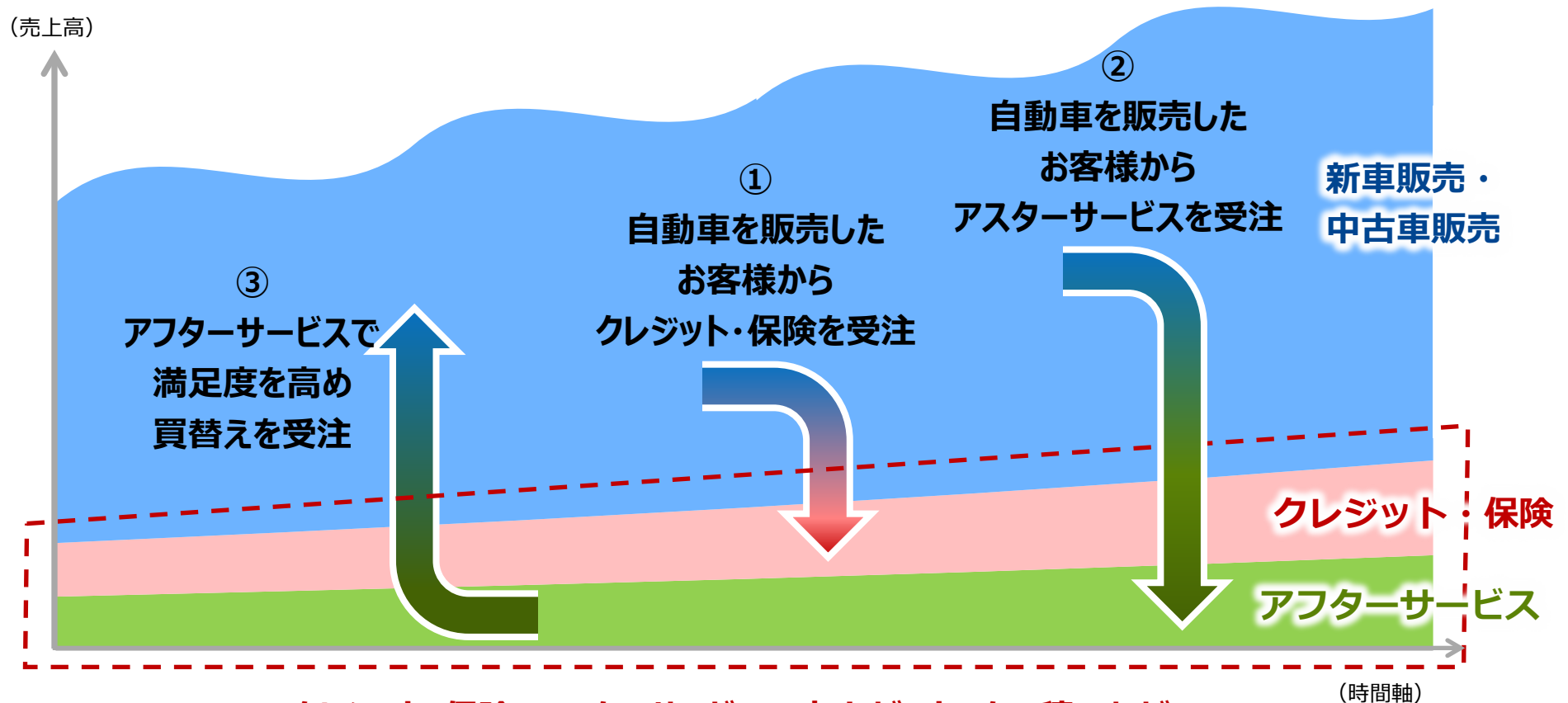
2台目需要、
価格重視 など



消費者（家族）

- 販売、クレジット・保険、アフターサービスの**相乗効果**で安定的な収益を確保

自動車販売事業売上高推移のイメージ



クレジット・保険、アフターサービスの売上がストックで積みあがる

■ アフターサービス ■ クレジット・保険 ■ 新車・中古車販売

ESGの取り組み



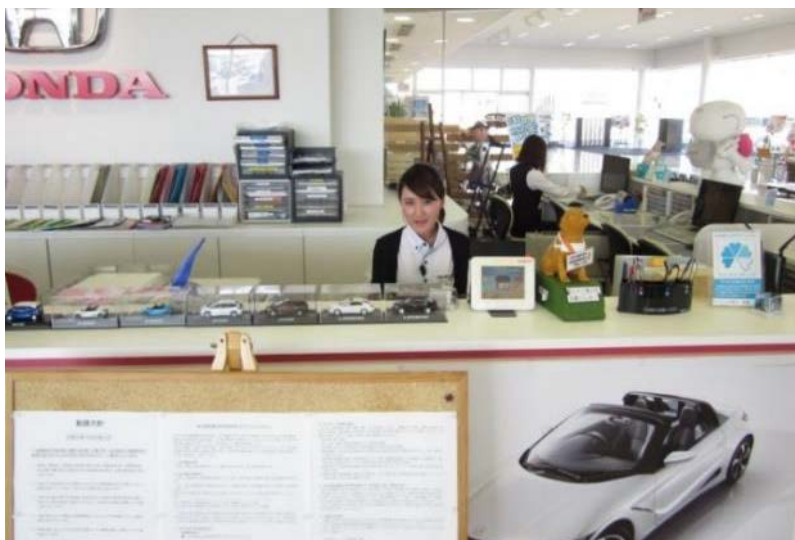
- 当社グループの **(株) マーク・コーポレーション** の次世代事業が、一般社団法人産業環境管理協会主催の「環境循環技術システム表彰」にて「レアメタルリサイクル賞」を受賞
- 三菱マテリアル(株)様と(株)ホンダトレーディング様と (株)マーク・コーポレーションの3社で共同で実施したNEDO事業「**使用済み自動車からのネオジム磁石および非鉄金属回収技術開発**」が評価されました。
- この希少金属回収事業は、レアアース及びレアメタルに係わる技術開発やデータ収集といった事業化を順調に進めており、自社生産品だけでなく他社からの素材を回収し、徐々に成果が出ております。

実施体制

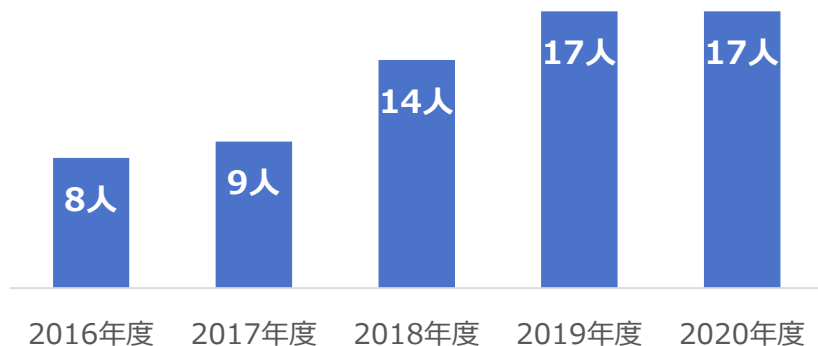


出所：一般社団法人産業環境管理協会 3R先進事例発表会 資料 (2015.10.16)

- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに**女子力を活用**
- 女性目線**を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は11店舗を予定

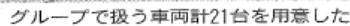


女子サービスフロント数の推移



掲載日 中日新聞朝刊（2014年7月2日）11ページ
中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

ICDAホールディングスが優待企画



先導車両の後ろを
一列上に行走す
る。ヘアピンカー
ブや裏ストレート
ト、130Rなど
5・8ギアの国際
レーシングコース
をブルに使い、1
セクション3周を
計3回実施した。

第1セクション
ではまず、株主ら
が持ち込んだ車両
によるマイカーラ

際を確認した。続いて第2、第3セッションでは、ICD Aタイプが用意した車両による走行を行った。この用意した車両は、5台の「S660」のほか「レジェンド」から「ステップワゴン」や「シヤトル」などのホンダのフルラインアップで計15台。このほか「911」や「マカノ」といったボルシエ車、F1オルコスワレーンとテウティもそれぞれ2台。乗車希望車両を抽籤し、多数の場合は抽

てなす日。参加希望者も増えた。我々もステップとして動かし、株主たちにも楽しむべく、これ以後も続けていく。(向井弘光社長)としている。

同日本6月にASDAQは、2003年6月にASDAQ2、2003年6月にASDAQ2に場。その後11月に名証2部。そして昨年6月には東証2部市場登場している。

優待の理に行っているもので、来年も株主総会同日の開催予定としている。

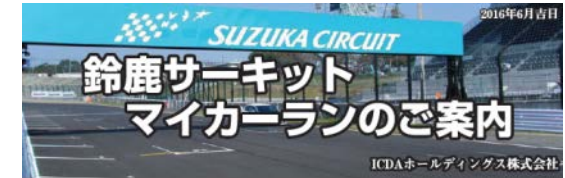
この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行すると

いうもの。走行前にはドライ
パミーティングによる走行
に関する注意点の説明を受け
るなど本格的で、コーススタ

【津】ホンダ四輪販売三重北を核とするICDホテルディングスが25日、株主総会に際して「マカリー・ラン」を鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催した。国際シンクコースを株主が持ち込む車両などで走行する企画で、昨年に続いて今回も開催となった。同日サーキット内施設で開催した株主総会後の株主に対する優待企画として実施しているもので、今回は前回の40人を上回る46人が参加した。株の「マカリー」による走行のほか、同社グループで取り扱うホンダ車や輸入車なども用い、株主とは自らハンドルを握り国際的なコースでの走行を楽しんだ。

愛知県から参加した投資家（男性40代）は、「この企画は今回初めて知り参加した。特に自動車車両やモーターズパーツに関心がある訳ではないが、せっかくなのでチャンスだ」と思い参加した。学生の頃、F1レースを観に来たが、そのコースを自分で運転できるとは想像すらしたことがなかった。

サーキット走行を楽しむ



当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（5.8Km）を使用いたしまして、先導車両付きマイカーランを実施させて頂きます。

当社グループ取扱車種（※1）もご用意しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。是非、この機会に、ふっつてご参加ください。

(※1) 当社グループ取扱車種については、抽選となりますので、第1希望・第2希望・第3希望を申込み用紙にご記の上、お申込み下さい。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2016年6月22日（水）

【スケジュール】

受付時間 13:30 チームオフィス (詳細は、株主総会終了後にご案内いたします。)

7月7日(水) 14:00 ブリーフィングルーム(走行に関する事前説明会)

走行時間 15:00~16:00

【会費】 無料

【申込方法】
本用紙の裏面に記載の注意事項、誓約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さいませ。ご記入頂いたご連絡先電話番号に、当社よりご連絡致します。

【申込先】ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX/059-384-2881

【申込期限】 2016年6月15日(水) 20:00 まで

【問い合わせ】

申込に関するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL: 059-381-5540

走行会に関するお問い合わせ先
 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 営業部営業課 担当：川畑
 TEL：059-378-1300（平日／9：00～17：00）



鈴鹿サーキットマイカーラン走行会

掲載日 日刊自動車新聞朝刊 平成27年（2015年）7月3日
日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

- スーパー耐久に参戦するバースレーシングプロジェクトにスポンサーを行い、社員教育の一環として、サービススタッフのレース現場の研修も行っています。
- モータースポーツの生の現場に触れ、憧れの現場を体験して大きな収穫を得ることができました。



Audi RS3 LMS

スーパー耐久とは？

全国（仙台・栃木・富士・鈴鹿・岡山・熊本）のサーキットで年間6戦行われる、日本最大の耐久レースのトップカテゴリーで富士では24時間耐久レースが開催される、アジアを代表する国内最大の耐久レースシリーズです。



2017年2018年2年連続シリーズ3位を獲得
2019年シリーズチャンピオンを獲得



本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先

I C D Aホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課

TEL 059-381-5540

FAX 059-384-2881

URL <http://www.icda.jp/>